

令和 7 年度第 2 回南外地域協議会会議録

令和 7 年 7 月 2 4 日

南外地域協議会

令和 7 年度第 2 回南外地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■職員紹介	2
■議題	3
1) 地域枠予算事業に関する報告について	3
2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について	3～5
3) 西部地区地域協議会合同研修会について	5～6
■その他	7
■閉会	7
■署名	7

令和7年度 第2回南外地域協議会 会議録

■日 時：令和7年7月24日（木） 18時00分

■会 場：南外コミュニティセンター

■出席委員： 11名

伊 藤 伝 悦、 伊 藤 正 人、 加 賀 正 夫、 加賀屋 由 香、
風 口 宏 子、 今 野 徹 、 佐 渡 敏 夫、 佐 藤 正 行、
進 藤 覚 、 相 馬 静 華、 高 寺 衛

■欠席委員： 3名

伊 藤 悠、 伊 藤 真紀子、 佐 藤 喜八郎

■出席職員： 6名

○南外支所職員

佐々木 満智子（支所長）

小松 亮（市民サービス課長）

高橋 勉（農林建設課長）

堀井 みわ子（公民館長）

菊地 明憲（地域活性化推進室副主幹）

照井 真央（地域活性化推進室主事）

■次 第：

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議題

1) 地域枠予算事業に関する報告について

2) 南外地域「彩色千輪プロジェクト」に関する報告について

3) 西部地区地域協議会合同研修会について

4 その他

5 閉会

6 署名

(18時00分 開会)

○菊地地域活性化推進室副主幹（以下「地域活性化推進室副主幹」と表記）

皆様、本日は忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。定刻となりましたのでただいまから「令和7年度第2回南外地域協議会」を開会いたします。

開会にあたり、佐藤会長からご挨拶を頂戴いたします。

○佐藤正行会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは。本日は第2回南外地域協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

最近は本当に毎日毎日暑くて、こう友人知人と会うと最初の言葉が「暑いな」という言葉で始まります。本当にあの脅異的な温度で推移しておりまして、今日なんか特に北海道の方が39度とかいう、北のほうも39度とかいう温度になったようで、逆に沖縄が31度、30度ぐらいで一番低いみたいなのがちょっと変わった現象が起きておりますけれども、どうか体調には十分注意されてお過ごしくださいというふうに思います。先日の天気予報士のお話ですと、今年は5月、7月、7月、8月、8月、10月というふうに呼ばれるくらいの温度で推移しているそうです。ですから9月も多分8月並みの温度で推移するということなので、秋が来るまでは本当十分体調に注意して過ごさなければいけないという状況だと思えます。

そんな中で、夏本番を迎えまして、夏まつり等色々な行事が出てまいりますので、体に注意しながらご参加をいただければというふうに思っております。本日は第2回目ということですが、会議のほうはスムーズに進めていきたいというふうに思いますので、どうかよろしくお願いいたします。はい、以上です。

○地域活性化推進室副主幹

ありがとうございました。それでは議事に入らせていただきます。本日の出席予定員数は12名で、まだ皆さん揃われておりませんが、現時点で11名となり、過半数に達しておりますので、本会議は成立することをご報告いたします。本日の議題はその他を含めまして4件であります。また会議録作成のため録音させていただきますことをあらかじめお断り申し上げます。なお発言の際は、挙手の上会長の指名を受けてからお願いいたします。それでは議事の進行は佐藤会長にお願いいたします。

○会長

はい。それでは協議会を始めたいと思います。この議題に入る前に、本日の議事録証明委員を指名いたします。本日は伊藤正人委員と加賀正夫委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。それでは議事を進めてまいりたいと思います。議題1、地域予算事業に関する報告について事務局より説明をお願いいたします。

○照井地域活性化推進室主事

はい。議題1、地域枠予算事業に関する報告について説明させていただきます。資料1、地域枠予算事業説明書をご覧ください。「第9回南外盆踊り開催事業」です。こちらは8月16日土曜日に開催予定の事業で、継続事業となります。お盆時期に帰省者も一緒に賑わえる事業として開催しているもので、盆踊りのほか、民謡ショーなどを計画しております。

他地域で実施予定の夏祭り関連事業は、屋外での開催となりますが、盆踊り開催事業については、熱中症予防や雨天でも開催可能なことから、昨年度より南外コミュニティセンターのホールでの屋内開催に固定して実施しております。補助金交付額は200,000円となる予定で、昨年度の実績額をベースに主催者側で事業内容の見直しを行い、前回よりも5万円の減額となっております。予算額はイベント参加者への謝礼や参加賞等の報償費で99,000円。消耗品や印刷製本費等で109,000円、音響機材等の借り上げ料で72,000円、あわせて、280,000円となっております。なお、補助金以外の収入として80,000円の企業協賛金を見込んでおります。地域枠予算事業については以上となります。

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見がございましたら挙手の上発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。ございませんか。

【質疑無し】

はい。それではないようですので、ここでの一番の議題につきましては、話し合いを終わりたいというふうに思います。続きまして議題2の南外地域彩色千輪プロジェクトに関する報告について事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室副主幹

はい。それでは議題2について説明させていただきます。資料2の南外地域彩色千輪プロジェクトに関する報告をご覧ください。こちらは前回の協議会の際に説明させていただきましたが、令和7年5月から共用開始となっている南檜岡コミュニティセンターの利用を促すとともに、地域住民の活動拠点としてはもちろんのこと、災害時は防災拠点としての機能も有しているこの南檜岡コミュニティセンターの利活用や、地域住民の防災意識の向上と連帯感の構成を目的としたイベント「防災教室 in 南外」を7月5日土曜日に開催いたしました。この事業は毎年開催しているきよてんまつりの一環として実施したもので、主会場となった南檜岡コミュニティセンターでは、ダンボールベッドやパーテーションテントなど実際に施設に常備している防災備品の展示のほか、当地域では初めてのイベント出演となる大仙市消防団音楽隊による演奏会、その他にもAEDの講習会や非常食の試食コーナーなどの実施でいずれも好評でした。イベントの最後には、屋外にて日吉集落在住の南外小学校児童4名による陽光桜の記念植樹を実施し、第2会場として大曲消防署西分署でははしご車の乗車体験や

放水体験などを実施し、こちらも家族連れなどで賑わいが見られました。当日は雨天予報などもあり開始当初は来場者の出足もあまりよくありませんでしたが、イベント開催中の降雨は見られず、音楽隊の演奏が始まる10時半頃には近隣の方々も多数見られました。来場者は両会場合わせて延べ120名で、地域協議会委員の皆さんにもご協力いただき、盛会に終えることができました。今回の試みとしては、目標としていた新たに生まれ変わった南檜岡コミュニティセンターの利活用促進や周知、地域住民の防災意識の向上など一定の成果は見られたのではないかと考えておりますが、今後も当地域での防災関連事業については今回の改善点なども確認しながら、来年度以降も継続実施していく予定です。ただし、今回新たにこのような事業を開催してみて、集客面や予算面など一から事業を立ち上げる難しさも感じておりますので、既存イベントとの合同開催等も念頭に入れながら関係団体等と協議を続けていきたいというふうに考えております。

次に、「南外中学校地域とつながる！プロジェクト」についてですが、今年も学年ごとに取り組み内容を変えて事業を実施しております。裏面に事業の写真を載せておりますが、1年生は「堀井徳五郎翁昔ばなしかるた制作事業」として、7月17日木曜日に3回目の授業を行い、こちらでは元大仙市地域おこし協力隊の岡田智美（おかだともみ）さんを講師に迎え、イラスト講座を実施し絵札づくりに取り組んでおります。作業も順調に進んでおり、作成途中の生徒については、夏休み中の課題にするなど、休み明けには完成できればというふうに考えております。出来上がりしました昔ばなしかるたは一旦こちらのほうでデータ化し、印刷したものを活用して南外小学校や南外さいかい市健康サロン等で、交流する機会に活用したいというふうに考えております。

続いて2年生ですが、こちらは継続事業となりますが「がんばれ！南外さいかい市応援事業」として、今年は9月6日土曜日に仙北ふれあい文化センターで開催される県主催の秋田元気ムラ大交流会で、昨年地域祭で実施した南外ミニさいかい市の内容をバージョンアップして出店する予定です。今年の取り組みについても、大仙市地域おこし協力隊と協力して実施しており、2年生についても7月17日に3回目の授業を行いました。こちらでは3グループに分かれて、Instagramを活用して事前告知動画や当日告知を行うグループ、商品ポップを作成するグループ、看板などを作成するグループに役割を分担して作業を行っております。昨年との大きな違いとしては、今年は教育委員会から生徒へ配布されているタブレット端末やそちらに内蔵されているアプリなどを使って作業を行っているところです。イベント当日は2年生生徒も会場で一緒にブース運営や販売を行う予定ですので、委員の皆さんからもご来場いただき、ご覧いただければというふうに考えております。

最後に3年生については、ミニコミ誌づくりということで7月8日に3回目の事業を実施しました。6月に実施した2回目の授業では秋田市の現役の地域おこし協力隊員として、ご自身でもZINEづくりの活動をされている平石かなた（ひらいしかなた）さんを講師に迎えZINEの作り方講座を実施し、ZINEづくりの基礎やコツを学びました。今回の3回目の授業では、この冊子づくりの情報を集めるためにグループごとに現地取材を行っており、生徒自身がテーマを考え、南外地域の「人」や南外地域の「名産品」、南外の「温泉」などをテーマにグループごとに現地で取材を行っております。裏面にあります写真、8番の写真になりま

すけれども、こちらは地域に住んでいる人をテーマにしたグループが、地域住民の代表として今野副市長を取材している様子になります。こちらのグループでは副市長の他にも地域協議会委員の進藤委員ですとか、7名程度の方にご協力いただきました。この他のグループでも取材先ではたいへん好意的に対応していただきまして、取材を受けていただいた方々も地元の子どもたちと触れ合える貴重な機会ということで、たいへん喜んでいただきました。今後はグループごとに取材した情報や写真などを活用して、夏休みの課題としてひとり1ページ程度の原稿を作成する予定です。完成は9月頃を予定しておりますが、出来上がった作品は公共施設や地域内外のイベントでの展示や配布を予定しており、この地域協議会でも配布できるようにと考えております。以上で議題2についての説明を終わります。

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。ございませんか。

【質疑無し】

はい。ないようですので、この件につきましては終了したいというふうに思います。続きまして議題3の西部地区地域協議会合同研修会につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

○地域活性化推進室副主幹

はい。それでは議題3について説明させていただきます。資料3の大仙市西部地域協議会地域研修会資料をご覧ください。こちらは前回の協議会の際にも少し説明させていただいておりますが、昨年度から大仙市西部地域の協和、西仙北、神岡、南外地域合同で実施している合同研修会ですが、今年は南外地域が当番地域となっております。こちらの講師については、佐藤会長とも相談させていただいて選定させていただきました。

それでは資料に沿って講師の紹介と日程等についてご説明させていただきます。今回講師にお招きするのは、羽後町にある「NPO 法人みらいの学校」代表理事で、現役の羽後町役場の職員をされている佐藤正和（さとうまさかず）さんです。佐藤さんは羽後町出身で、大学卒業後は県内の銀行に就職されましたが、生まれ育った地元を元気にしたいという思いから羽後町役場の職員として転身され、入庁後は人口減少にかかる若手職員チームの立ち上げや地域おこし協力隊地方創生事業などを担当され、自分の培ったノウハウや人の繋がりなどをさらに活用すべく、令和元年に自ら NPO 法人みらいの学校を立ち上げ、現在も代表として活動されております。佐藤さんが立ち上げたこのみらいの学校ですけれども、こちらは任期後の地域おこし協力隊員の活動拠点になっているほか、主な活動としまして地元の羽後高校との連携事業や地域のローカルニュースを扱うニュースサイトなどの運営、地元企業の雇用促進の支援などに取り組んでいる団体になります。当地域に関しましても今年度から南外地域で地域おこし協力隊員が配属となっているということもありまして、事業運営の参考にさせ

ていただきたいという思いもあり、佐藤さんをお願いすることにいたしました。佐藤さんには先日電話で研修会の趣旨をご説明したところ、心よく引き受けてくださり、今後詳細について打ち合わせを進めていきたいというふうに考えております。

資料の裏面、開催要項（案）をご覧ください。こちらは昨年度協和支所で作成したものを修正したものになりますが、昨年度協和地域で研修会を実施した際は、協和市民センター和ピアにて研修会のみの実施でした。今年度の実施にあたりまして、昨年度実施した際に参加者の方より協議会委員の交流会を実施してはどうかという意見ですとか、大仙市東部地域では以前から合同研修会後に交流会を実施して、その交流会には例年市長も参加しております、西部の協議会委員の皆様ともそういった機会があればという市長の意向もあったことから、今回は研修会終了後に合同交流会も合わせて開催することになりました。

日程については、11月7日金曜日の開催となり、午後3時から1時間か1時間半程度の講演会で、場所は南外コミュニティセンターの1階ホールを予定しております。こちらは講演会後に交流会を実施するような流れを考えておりますが、当初は交流会も南外地域内で実施するという方法で検討しておりましたが、協和地域の方ですとか遠方から来られる方もいらっしゃるということで、帰られる際の移動手段の確保や参加者の人数なども考慮し、大曲にありますプラザつつみを会場にして開催することといたしました。交流会は5時15分からの開催予定で、老松市長はこの交流会からの参加になる予定です。会費は1人6,000円を予定しております。移動手段についてですが交流会への参加者数にもよりますが、研修会終了後に南外支所の大型バスとプラザつつみのバスにて参加者全員同乗して、プラザつつみまで移動する予定です。研修開始、研修会の会場となる南外コミュニティセンターまでの移動や交流会後の、交流会終了後の帰りの移動手段などは、参加者の皆さんより各自ご対応をいただく予定となっております。今回の研修会については平日の開催となりますが、当地域での担当となりますので委員の皆さんにも研修会、交流会ともに積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

以上で議題3について説明を終わります。

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご質問やご意見等ございましたら挙手の上、発言をお願いいたします。何かございませんでしょうか。ないですか。

【質疑無し】

はい。それでは、あの今回は南外地域が担当ということで、このように交流会も設けさせていただきましたので、委員の皆様是非ともご参加のほう1つよろしくお願いしたいというふうに思います。どうかよろしくお願いいたします。はい。それではご意見等ないので、次第4号その他に入りますが、その他につきましては事務局の方から何かございましたらご提案のほうお願いいたします。

○地域活性化推進室副主幹

その他ということではないですけれども、前回の地域協議会の際に委員の方ですとか職員の名簿を、ということで本日の資料に付けさせていただいております。お願いなんですけれども、皆さんの、委員の皆さんの役職ですとかそういったものを、改選になった時からこちらで確認できるものは修正したりはしているんですけれども、抜けているものございましたら、口頭でも結構ですのでご一報いただければと思います。以上です。

○会長

はい、この件につきましてなにかございませんか。平均年齢が 55.6 歳ということで過去からするとだいぶ若返った平均年齢になってますので、皆さんありがたいというふうに思っております。何か意見等ございませんかでしょうか。

はい、ないようですので、それでは議題に対する説明等はこれで終了、その他につきましても終了したいというふうに思います。本日の会合はこれで終わりたいと思います。

次回の会合は、9月下旬を予定しております。詳細は後日事務局を通じてお知らせいたします。

これをもちまして令和7年度第2回南外地域協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。

(19時00分 閉会)

南外地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

伊 藤 正 人

加 賀 正 夫
